

英語科学習指導案（略案）

平成31年2月8日（金） 13:40～14:30（2年2組）

指導者 江口 佳那

ALT Maria Kimura Luisa

1. 題材名

Lesson8 India, My Country (NEW CROWN ENGLISH SERIES 2)

2. 題材の目標

- ・多言語国家の生活、文化について知る。（関心・意欲・態度）
- ・Show&Tellを活用して、自分の好きなものについて紹介することができる。（表現）
- ・日本における人・ことば・社会の結びつきについて考える。（理解）
- ・受動態を理解し、使う。（言語・文化）

3. 題材構想

過程	時間	主な活動	指導上の注意	評価項目等
ふれる	1 本時	○自分の身のまわりで使われているものについて3ヒントクイズをつくる。 ○ALTのShow&Tellのモデル文を聞き、本レッスンのゴールを意識する。	○”～is used”（受動態）の意味に気付かせる。 ○「ものの説明（3ヒントクイズ）の活動を通して受動態への必要感をもたせる。	○身のまわりで使われているものについて相手に意欲的に伝えようとしている。 【関心・意欲・態度】
追究する	2	○Lesson8-1の内容理解の学習を通して受動態（現在形）の用法を理解する。 ○本文を音読する。	○受動態（現在形）の用法を理解させる。 ○音読やQ&A、ペアとのやりとりを通して概要を理解させる。	○Q&Aなどの活動を通して、本文の内容を理解することができる。【理解】
	3	○受動態（過去形）の用法を理解する。 ○不規則変化動詞の過去分詞を学習する。 ○自分の好きなものを紹介する受動態を含む文を3つ書く。	○ALTの話を読み、受動態の（過去形）に気付かせ、用法を理解させる。 ○規則変化と不規則変化について例文を使いながら生徒に気付かせ、主体的に学習するようにする。	○受動態の用法を理解することができる。【理解】
	4	○Lesson8-2の本文を読み取る。 ○本文を音読する。	○音読やQ&A、ペアとのやりとりを通して概要を理解させる。 ○ALTとJTEでデモンストレーションを行い、次にする活動を理解させる。	○Q&Aなどの活動を通して、本文の内容を理解することができる。【理解】
	5	○受動態を含む文を用いて、友だちと会話をする。 ○自分の好きなものを紹介する受動態を含む文を3つ書く。	○受動態を用いて正確に理解させる。 ○自分が書きためた文を友だちに伝え、教え合いの中で理解を深める。	○受動態の用法・意味を正確に理解することができる。 【理解】
	6	○ラーズのインドについての話を聞いて、多言語の国や人・ことば・社会の結びつきについて関心を高める。 ○USE-Readの本文の概要を理解する。	○写真などの視覚教材を用いてインドへの関心を高めさせる。 ○ラーズの新聞記事の概要を理解させる。	○インドの文化への関心を高めることができる。 【関心・意欲・態度】
	7	○USE-Readの本文を読み取る。	○Q&A、ペアとのやりとりを通して内容を理解させる。	○ラーズのインドについての話を読み、理解することができる。【理解】
8	○自分の好きなものについて紹介する文を考える。（25語以上、6文以上）	○書きためた文を推敲し、紹介文を完成させる。 ○Show & Tellに必要な絵や写真を用意することで次時への意欲を高める。	○自分の好きなものについて受動態を使って文を作ることができる。【表現】	

	9	○ALT に自分の好きなものについて紹介する。	○自分の好きなものについて紹介させる。 ○ビデオに撮影することでより実践的な活動にする。	○ALT に自分の好きなものについて伝えることができる。【表現】
まとめ	10	○ビデオに撮った自分の Show&Tell を振り返り、友だちと意見を共有する。	○自分の Show&Tell を振り返らせる。 ○完成したものを廊下に掲示し、生徒の自己存在感を高める。	○受動態について理解することができる。【知識・理解】

4. 本時の学習

(1) 本時のねらい

“is used”の表現を聞いたり使ったりしながら、受動態の用法・意味に気付き、身のまわりで使われているものを伝えようとするとともに、単元末に行う Show&Tell への見通しを持たせる。

(2) 展開

◎学びのつながり ※生徒の指導の三機能 ◇つなぎ教材 ☆評価項目(方法)

学習活動と 予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価	
	JTE	ALT
めあてをはっきり ○JTE と ALT の会話で“is used”を含む文を聞く。 ○会話が示すものがわかたら挙手をして答える。 ○受動態を用いた3ヒントクイズを見ることで、コミュニケーション活動に意欲的になる。 ○“is used”を含む英文を読み、“使われる”という受動態に気付く。	○ 受動態を用いた 3 ヒントクイズをする。(①はさみ、②ラジオ) ○難しいものについては“is used”を用いた文を黒板に提示し、答え合わせのあと生徒に復唱させることで生徒が“is used”(受動態)の意味に気付くようにする。 ○受動態の文をALTに続いて練習させる。 ○本時のめあてを掲示する。	◇JTE にたずねられたものを“is used”を含む 3 文で説明する。(A 概念導入型) ○クイズを 2 つ行い、難しいものはキーワードを見せながら説明する。 ◎“is used”を含む英文を読み、“使われる”という受動態の意味に気付かせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> 身のまわりのもので 3 ヒントクイズをつくって楽しもう。		
課題をじっくり ○グループごとに身のまわりで使われているものについて伝える 3 ヒントクイズを作る。 ○全体でグループごとに 1 人 1 文ずつ発表する。 ○聞き手は 3 文すべて聞いてから、何について説明しているのか当てる。	○3,4 人のグループで 1 人 1 文ずつ“is used”を含む文を考えさせる。正確な記述よりもキーワードとなる動詞を書かせる。 ○うまく文が作れない生徒には日本語のヒントを与え、それをもとにグループで英文をつくるように指示をする。 ○発表グループ全員の文を聞いてから挙手をするように説明する。 ○つまづいている生徒を支援する。 ※答えを当てたグループのみではなく、クイズを伝えられたグループをほめることで生徒の自己存在感を高める。	○クイズの答えとなる英単語のカードを 1 枚ずつ配る。 ○早くできたグループには実践練習をさせ、クイズに答えることで「伝えられた」という自信をもたせ、発表につなげる。 ○生徒の発表のよさを褒める。 ○つまづいている生徒を支援する。 ○聞き手から答えが出ないときは発表者に質問をして聞き手にさらにヒントをあたえる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">☆“is used” (受動態) の用法・意味に気付き、それを用いて相手に伝えようとしている。(観察)</div>		
まとめ・振り返り ○ALT の好きなものについての Show&Tell を聞き、単元末に行う活動への見通しをもつ。 ○発表原稿を読み、is used 以外の受動態に気付く。 ○“is used”を含む文を 1 文書く。	○生徒が作った文を取り上げて受動態の意味を確認する。 ○ALT の発表原稿を生徒に配り、受動態の文に気づかせる。 ○本時で使用した“is used”を含む文を 1 文書かせる。 ○単元の計画表を示し、次時まで、自分が紹介したいものを決めてくることと、Show&Tell の準備を始めることを伝え、学習意欲を高める。	○単元末に行う Show&Tell のモデルを示し、生徒にレッスンのゴールを意識させる。